

カナリア配合錠・ 配合OD錠を 服用されている方へ



監修

稲垣暢也 先生 公益財団法人田附興風会 医学研究所北野病院 理事長

棚橋紀夫 先生 埼玉医科大学国際医療センター脳神経内科・脳卒中内科 特任教授

三鴨廣繁 先生 愛知医科大学医学部 臨床感染症学講座 教授

1枚ずつはがして、先生より患者さんへお渡しください。



田辺三菱製薬株式会社



第一三共株式会社

カナリア配合錠・配合OD錠を服用されている方へ

カナリアは、1錠のなかにテネリアとカナグルの2つの成分
(テネリグリプチンとカナグリフロジン)が入った血糖値を下げるお薬です

注意していただくこと

低血糖 (血液中の糖が少なくなりすぎた状態)

症状

- 動悸、発汗、手足のふるえ、眠気などの症状があらわれます。
- 低血糖を放っておくと、意識を失うこともあります。



低血糖の症状があらわれたときは絶対にがまんせず、すぐに糖分をとってください。

●ブドウ糖(グルコース) ●あめ※ ●角砂糖

●ジュース※や清涼飲料水※

※シュガーレスでは効果がないため、シュガーレスの食品や飲料ではないことをご確認ください

α-グルコシダーゼ阻害薬(グルコバイ、ヘイスン、セイブルなど)と一緒に服用しているときに低血糖症状があらわれた場合は、砂糖(ショ糖)ではなく、ブドウ糖(グルコース)をとってください。



特に、インスリン注射や他の血糖降下薬と併用するときは注意してください。

脱水症状

次のような症状が出たときは脱水かもしれません。
水分補給をして、早めに医師に相談してください。

【注意】 血糖コントロールが極めて不良の方、65歳以上の方、減塩食療法を行っている方、血圧を下げる薬(特に利尿薬)を飲んでいる方、腎臓の働きが低下している方は、特にご注意ください。

症状

- のどが渇く
- 眠気、疲れを感じる、
- めまい、ふらつき
- ぼんやりする
- たちくらみ
- 脈拍がいつもより速く感じる

普段よりトイレに行く回数が増えたり(頻尿)、1回に出る尿の量が増えたり(多尿)しているときは脱水を起こしやすいので注意が必要です。

- 脱水が起こらないように、普段よりも水分を多めに摂取しましょう。
- 尿の回数や量が多いときも水分摂取を続けましょう。
- 血圧を下げるお薬を飲んでいるときは血圧が下がりすぎることがあるので、ふらつきなどの症状がみられたら、医師に相談しましょう。
- 発熱・下痢・嘔吐などがあるときや食欲不振で食事ができないときは脱水になりやすいので、その日はカナリアの服用をやめ、医師に相談しましょう。



尿路系や性器の感染症

次のような症状が出たとき、または経験したことがある方は、恥ずかしがらずにすみやかに医師に相談しましょう。

【注意】 尿路感染や性器感染を起こすことがあります。尿路感染や性器感染が重症になると腎盂腎炎^{じんぼうしんえん}や敗血症になる場合があります。また、尿路感染・性器感染が重症になると病変が肛門・外性器周囲の皮膚軟部組織に広がり、さらに重症化することがありますので、ご注意ください。

尿路感染症 (男女とも)

排尿時の痛み、残尿感、発熱、寒気、背中やわき腹の痛み など

性器感染症 (女性)

性器やその周辺のかゆみ、白いおりもの(粥状・ヨーグルト状・酒粕状) など

性器感染症 (男性)

性器の赤み・かゆみ・腫れ・湿疹、性器からの悪臭のある排せつ物、性器周囲の皮膚の痛み など

フルニエ壊疽[※] (男女とも)

陰部の痛み・痛みを伴う水ぶくれ・ただれ、陰部の皮膚が赤～赤紫色に腫れる、発熱・体がだるい など

※フルニエ壊疽：皮下組織の細菌感染で、筋膜にまで急速に広がって組織を破壊し、生命を脅かすことがある疾患です。特に陰部に患った場合「フルニエ壊疽」と呼ばれます。

● 排尿をがまんしないようにしましょう。● 性器を清潔にすることを心がけましょう。

ケトアシドーシス

次のような症状が出たときはケトアシドーシス[※]かもしれません。水分を補給して、すみやかに医師に相談しましょう。

※血液中のケトン体が増え、血液が酸性に傾くこと。

【注意】 インスリン分泌能が低下している方、インスリン製剤を減量あるいは中止した方、過度な糖質摂取制限をしている方や食事摂取不良の方、感染症や脱水を起こしている方は、特にご注意ください。

症状

- 吐き気・嘔吐
- 過度にのどが渇く
- 息苦しい
- 食欲がない
- からだがだるい
- 意識の低下
- 腹痛



- 過度の糖質摂取制限はやめましょう。
- 発熱・下痢・嘔吐などがあるときや食欲不振で食事ができないとき、感染症・脱水を起こしているときは、その日はカナリアの服用をやめ、医師に相談しましょう。
- 高血糖がみられない場合があるので、血糖値だけで判断せず、ケトアシドーシスの症状を感じたらすぐに医師に相談してください。
- この薬を中止した後であっても、長期間糖を尿に排せつする作用やケトアシドーシスが持続する場合があります。ケトアシドーシスの症状を感じたらすぐに医師に相談してください。

皮膚の症状

カナリアを飲み始めてから、皮膚がかゆくなったり、発疹ができたときは、糖尿病の治療を受けている医療機関に相談してください。



